

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

お得意様におかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より株式会社栢本天海堂の製品ならびに社員へ厚いご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。また、昨年の震災や台風などの天災や放射能汚染に被災された皆様方へは、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

昨年を振り返ると国内では東北・関東で発生した3.11東日本大震災と福島第一原発事故による放射能汚染、奈良・和歌山を襲った台風12号、一方、世界ではタイ国で発生した大洪水による製造各社の生産停止、ギリシャを発端としたEU諸国の財政危機などがありました。

生薬事情については近年までは主要輸出国である中国情勢一本に左右されてきました。価格上昇や供給不安、品質低下などについては

- 一、人件費の上昇
- 二、天候不順
- 三、乱獲による資源枯渇
- 四、中国国内での需要拡大
- 五、投機マネーの流入

など様々の要因が合い混ざり、なおも続くと思われま

さらに、これから三十年以上は続くであろうと言われている放射能汚染の影響により日本産生薬は危機的状況を迎えております。この問題はお得意様と生産者、弊社共々、漢方薬の存続を掛けて、できる限りの策を講じていく必要があると考えております。生薬の放射能汚染問題については、厚生労働省のご指導等に基づいた最善策を講じ、安全性を重視した品質保証と安定供給に取り組んでいくことをお約束致します。

なお、弊社では本年1月から寝屋川物流センターを全面改築致します。約40年間に渡って使い慣れた配送設備を撤廃し、現代的な様式から、皆様方への漢方薬・生薬の物流の質を高めていく所存です。完成は9月を予定しておりますが、それまでの間、何かとご不便、ご迷惑をお掛けするとは存じますが、ご理解ご鞭撻の程よろしくお祈り申し上げます。

結びに、お得意様の今後の益々のご活躍と健康と幸福をお祈りしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 栢本天海堂
代表取締役 栢本和男



2012年生薬市場の展望

—急速に大きく変化する生薬市場。これからの生薬の方向性—

■はじめに

中国産生薬の価格は2009年から高騰しはじめ、2010年には多くの生薬価格は平均して約2倍、中には10倍以上に値上がりしました。2011年秋冬には、中国政府の介入により暴騰した生薬価格が一部下落傾向を示していますが、2009年以前の価格水準に戻ることは考えられません。

農作物でもある生薬資源の安定供給には、三つの要素①品質 ②価格 ③量が密接に関係しています。生薬の生産量（供給量）の減少は価格の高騰につながり、価格の高騰は流通生薬の品質低下を招きます。その結果、生薬の安定供給・品質確保などに悪影響を及ぼします。

2012年の生薬市場は、流通生薬の『品質低下の年』といえるでしょう。流通生薬の品質低下とは、具体的には商品流通規格（等級・栽培年数など）が守られず、規格分けされない「統庄（トウジョウ）」と呼ばれる規格の流通が多くなってきます。例えば、野生生薬の大黄は、元来1級・2級・3級と等級分けされていましたが、1・2級品が少ないため等級分けされない「統庄品」が主流となってきています。過去に輸入していた1・2級品は殆ど入手できなくなり、今後は「統庄品」を使用せざるを得なくなるため、結果として品質は低下することになります。

弊社としてはこのような市場現況の中、品質維持に注力し、特に医療用調剤生薬については品質を落とすことのないよう取り組んでまいります。



■1. 中国の生薬市場の現状

(1) 生薬の価格高騰

中国の経済発展にともなう様々な要因によって、近年生薬の価格が高騰しています。要因としては、表1の6項目などが挙げられます。今後中国国内での生薬の需要は、一層高まると予想されます。

表1. 生薬の価格高騰ファクター

① 都市部と農村部の所得格差
② 中国農村部の人口減少と高齢化
③ 人件費の高騰
④ 資源の枯渇・環境保全、そして輸出規制へ
⑤ 中国の医療保障体制の整備に伴う需要拡大
⑥ 中国政府の金融政策による投機的買い占め

